

スポーツ事故と法的責任

～競技関係者の法的責任をめぐる日本の裁判例の分析と海外の動向～

日時

2020年10月31日(土)
13時～16時(3時間)



場所

完全 Web 開催

※参加申し込みはQRコードをご利用ください

参加受付

2020年10月29日(木)午後5時まで
(定員(400名)に達し次第終了します)

なお、今回の Zoom ミーティングによるシンポジウムは、日本スポーツ法学会の会員、国土館大学及び同大学大学院に所属する方に加えて、これらの方から紹介を受けた方であれば、参加することができます。

内 容

- 総合司会 …………… 弁護士 中嶋翼 (東京弁護士会)
1. 開会の挨拶 …………… 森田悦史 (国土館大学法学研究科科長)
2. 最近の裁判例の紹介
- ① スポーツ事故の法的責任の全体像
…………… 弁護士 相川大輔 (大阪弁護士会)
 - ② バドミントンダブルス事案
東京地裁平成30年2月9日判決及び同高裁判決
…………… 弁護士 飯田研吾 (第二東京弁護士会)
 - ③ ラグビー・サッカー事案
東京地裁平成28年12月26日判決ほか
…………… 弁護士 松原範之 (神奈川県弁護士会)
 - ④ 日本拳法部事案
大阪地裁平成29年2月15日判決
…………… 横山幸祐 (国土館大学法学研究科博士課程)
3. スポーツ事故と民事責任
日本の裁判例の分析と海外の動向
…………… 棚村政行 (早稲田大学法学学術院教授、弁護士)
4. スポーツ事故の予防に向けて
…………… 弁護士 望月浩一郎 (東京弁護士会)
5. 閉会の挨拶 …………… 弁護士 阿部新治郎 (神奈川県弁護士会)

共催団体

国土館大学大学院法学研究科
日本スポーツ法学会

後援団体

(公財)日本スポーツ協会・(公財)スポーツ安全協会
(公財)中体連・国土館大学スポーツプロモーションセンター